



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶



市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第440号

2020年1月27日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

日本共産党が、防衛省に緊急のヒアリング

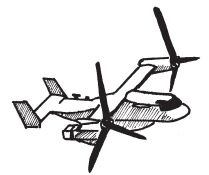
日本共産党は、10日に発生した陸上自衛隊習志野演習場での落下傘場外降着事故や3月末までに木更津駐屯地にオスプレイが配備され、飛行訓練に習志野演習場が含まれている問題について、23日防衛省に聞き取りを行いました。斉藤和子前衆議院議員、丸山慎一前県議、船橋市議、八千代市議が参加しました。

ヒアリングの中で、場外降着事故について、アメリカでは降下訓練を住宅地では絶対に行わないのになぜやるのか。12日に行われた「降下訓練始め」について、自治体への通知には、前回の「日米間の相互信頼の醸成及び祝賀目的」から、今回、「自衛隊と米軍の活動についてご理解を」と変更したことについて「日米共同訓練の常態化を考えてのことか」という質問には、回答がありませんでした。

降下訓練に参加した自衛隊員は750名。アメリカからは80名が参加。内訳は、在日米軍（沖縄）第82空挺師団（海外侵攻の先鋭部隊）、第4歩兵旅団戦闘団（アラスカ州）、それに、今回初めて横田基地所属の米空軍C130J輸送機が参加しています。米軍の移動日程など、これまで明らかにしていた情報についても、防衛省は「米軍の運用」を盾に沈黙したままです。

日本のどこの空にもオスプレイはいらない

木更津市長が12月末にオスプレイの配備の受け入れを表明してから、事態は緊迫しています。現在、木更津市長と防衛大臣との間での文書交換の手続き中。内容は①配備の期間は5年以内。②運用の協議体を設ける③イベント等に配慮（潮干狩りなど）④情報の提供（佐賀空港の整備状況）を盛り込むという。しかし、「5年以内は目標だ」といいます。



購入する17機の配備スケジュールは米国が立てていて、現在3機を使ってアメリカ本土で、米軍が自衛隊員を教育訓練しています。3月末に輸送船で運ばれ、木更津基地に5機配備する予定です。

服部市長は、配備と飛来の撤回を求めよ

佐賀空港は、「軍用機の離発着は認めない」との住民との協定で配備はできていません。しかし木更津では、市長が合意をしたため、配備が進められようとしています。

木更津周辺を飛び回り、習志野演習場にも飛来して飛行訓練等を行うようになります。八千代市民も危険にさらされることとなります。騒音をまき散らし、世界一危険なオスプレイが演習場上空を飛び回することは、絶対に認めることができません。

服部市長は、防衛省に説明を求め、オスプレイの配備と演習場上空の飛来の撤回を要求すべきです。